ONKYO

SAS200

ポータブルワイヤレススピーカー

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

■ 付属品

充電用 AC アダプター (1)
充電用ケーブル (1)
取扱説明書（本書）(1)
保証書 (1)

■ 安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。
電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

●**「警告」と「注意」の見かた**：間違った使いかたをした時に生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く
- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない
火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■ 接続、設置に関するご注意

通風孔をふさがない、放熱を妨げない
- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（本機の天面、横から 20cm 以上、背面から 10cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない
本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

■ 充電用 AC アダプターや充電用ケーブルに関するご注意

充電用ケーブルを傷つけない
- 充電用ケーブルの上に重い物をのせたり、充電用ケーブルが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

充電用ケーブルが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

充電用 AC アダプターに布や布団をかぶせない
熱がこもり、火災の原因となります。

充電用 AC アダプターや充電用ケーブルのプラグは定期的に掃除する
プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。充電用 AC アダプターや充電用ケーブルを外し、乾いた布でほこりを取り除いてください。

29402022

■ 使用上のご注意

雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、充電用 AC アダプターのプラグに触れない
感電の原因となります。

本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない
火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機のバスレフダクトから異物を入れない。

長期間音がひずんだ状態で使わない
- アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。

病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

長時間大きな音で使用しない
本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。

自転車、オートバイ、または自動車などを運転中には絶対に使用しない
- 運転中に使用すると、交通事故の原因になります。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

■ 充電池に関する警告

本製品はリチウムイオンバッテリーを使用しています。発熱、発火、液漏れ等を避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

指定以外の充電用 AC アダプターと充電用ケーブルを使用しない
家庭用 AC 電源で使用する時や、充電を行う時は必ず指定の充電用 AC アダプターと充電用ケーブルを使用してください。指定以外の物を使用すると過熱により、けが・やけど・火災・汚損や電池の破裂、液漏れの原因になります。また充電中は布や布団をかぶせたりしないでください。熱がこもり火災の原因となります。

火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

分解しない
感電の原因になります。充電式電池の交換・点検・修理は、お買い上げの販売店またはオンキヨーオーディオコールセンターにご依頼ください。

充電式電池の液が漏れた時は素手で液をさわらない
液漏れが発生した時にはオンキヨーオーディオコールセンターにご相談ください。液が目に入った時は失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いた時は皮膚のけが・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

⚠注意

■ 接続、設置に関するご注意

不安定な場所や振動する場所には設置しない
強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本機の上に 10kg 以上の重い物や外枠からはみ出るような大きな物を置かない
バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

配線コードに気をつける
配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■ 充電用 AC アダプターや充電用ケーブルに関するご注意

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する
本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

充電用 AC アダプターや充電用ケーブルを外す時は充電用ケーブルを引っ張らない
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

充電用ケーブルを束ねた状態で使用しない
発熱し、火災の原因となることがあります。

充電用 AC アダプターは、コンセントに根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

お手入れの際は充電用 AC アダプターを抜く
お手入れの際は、安全のため充電用 AC アダプターをコンセントから抜いてから行ってください。

長期間使用しない時は充電用 AC アダプターをコンセントから抜く
絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

ぬれた手で充電用 AC アダプターを抜き差ししない
感電の原因になることがあります。

■ 使用上のご注意

音量を上げすぎない
- 突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない
磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 移動時のご注意

移動時は充電用 AC アダプターのプラグや接続コードをはずす
コードが傷つき火災や感電の原因になります。

本機の上にものを乗せたまま移動しない
本機の上にものを乗せた状態で移動すると、落下や転倒してけがの原因となります。グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 電波に関するご注意

本機を使用する周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。
- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。混信回避のための処置等については、オンキヨーオーディオコールセンターへご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた時は、オンキヨーオーディオコールセンターへお問い合せください。

2.4: 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH: FH-SS 変調方式を表します。
1: 与干渉距離は 10m です。

すべての Bluetooth 機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。
一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

■ ライセンスと商標について

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc. が所有する登録商標であり、オンキヨー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

©2013 CSR plc and its group companies. The aptX® mark and the aptX logo are trade marks of CSR plc or one of its group companies and may be registered in one or more jurisdictions.

■ ご相談窓口・修理窓口のご案内

お電話によるご相談、修理受付け
オンキヨーオーディオコールセンター
050-3161-9555（受付時間：10:00 ～ 18:00 土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）
- **販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は：**保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となります。長期保証期間内の製品は、店頭への修理品持込みをお願いいたします。
- お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は下記の URL にて全国の修理拠点のご案内がございます。

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm

■ 機器の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に端子などの清掃をおすすめします。ほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

■ 充電池のリサイクル

本機にはリチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品の廃棄に際しては、リチウムイオンバッテリーを取り外して、リサイクルにご協力ください。

Li-ion

- **製品を廃棄する時以外は、絶対に本体を分解しないでください。**

■ 主な仕様

総合

電源・電圧	：AC 100V、50/60Hz（本体電源入力 : DC5V 2.0A）（内蔵リチウムバッテリー使用）
消費電力	：8W（充電用 AC アダプター使用、本体充電時）
動作温度	：5 ～ 35°C
電池持続時間	：約 5 時間（使用条件により変わります。）
充電時間	：約 4 時間（付属の充電用 AC アダプター使用時）
最大外形寸法	：180mm（幅）× 53.5mm（高さ）× 59mm（奥行）
質量	：740g
音声入力	：Bluetooth、AUDIO IN

スピーカー部

使用スピーカー	：40㎜ 2 個
パッシブラジエーター	：80㎜ ×40㎜ 2 個

Bluetooth 部

Bluetooth 標準規格	Ver. 4.0、Class 2
最大通信範囲	：10m （通信距離は目安です。使用環境により変わります。）
周波数帯域	：2.4GHz ～ 2.48GHz
対応プロファイル	：A2DP
対応コーデック	：SBC、aptX
対応コンテンツ保護	：SCMS-T
サンプリング周波数	：32kHz/44.1kHz/48kHz
PIN コード	：0000
マルチポイント	：2
最大ペアリング数	：8
TWS（トゥルーワイヤレスステレオ）	：有り

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

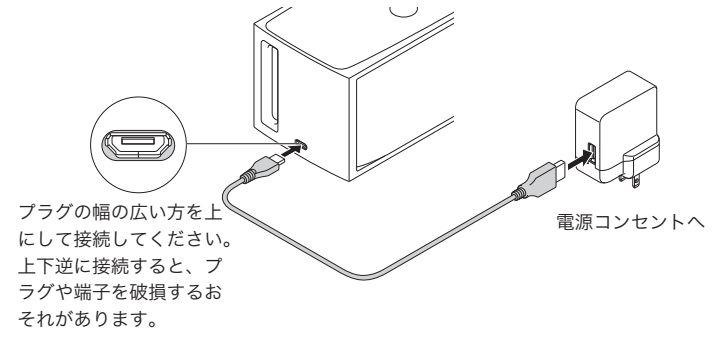
オンキヨー株式会社
〒 541-0041 大阪市中央区北浜二丁目 2 番 22 号 北浜中央ビル

サポートのご案内、オンラインユーザー登録（＊）：http://www.jp.onkyo.com/support/
＊ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、オンラインユーザー登録を行っています。Eメールによる製品サポート情報や製品関連情報のお届け、ONKYO DIRECT オンラインショップからの情報メールのご案内などのサービスをご利用いただくことができます。（ご登録いただいたお客様情報は、オンキヨーのサービス以外の目的で使用されることはありません）

① 電源ボタン/インジケーター
② Bluetooth ボタン/インジケーター
③ 消音ボタン/インジケーター
④ 音量ボタン（+/−）
⑤ グリルネット
⑥ 電源入力端子
⑦ バスレフダクト
スピーカー内部で反響した低音を放出して、低音を増強するダクトです。バスレフダクトの中に物を入れないでください。

＊本機天面には保護フィルムが貼られています。

1 電源について

本機は充電式リチウムイオンバッテリーを搭載し、充電用 AC アダプターに接続しなくても使用することができます。お買い上げ後、最初に使用する時は、充電用 AC アダプターを接続してバッテリーを充電してください。

充電中は 電源インジケーター①が赤色（バッテリー残量が少ない時）または緑色で点滅します。充電が完了すると緑色に点灯します。バッテリー使用時は残量が少なくなると赤色で点灯します。
本機はオートスタンバイ機能が搭載されています。入力信号がない状態が 20 分間続くと、自動的に電源がスタンバイ状態になります。また、Bluetooth 接続がない状態が 5 分間続いてもスタンバイ状態になります。
• 充電用 AC アダプターを接続していても、最大音量近くで再生していると消費電流が充電電流を上回ります。
• 付属の充電用ケーブル以外で充電しないでください。

2 Bluetooth 接続で再生する

スマートフォンなど Bluetooth 対応機器の音声をワイヤレスで楽しむことができます。
＊Bluetooth 対応機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。また、すべての Bluetooth 対応機器との接続動作を保証するものではありません。

ペアリング（機器登録）する

Bluetooth 対応機器と接続するには、はじめに 1 回だけペアリングを行う必要があります。事前に Bluetooth 対応機器の「Bluetooth 設定機能を有効（オン）にする方法」や「接続操作」の操作手順をお調べください。

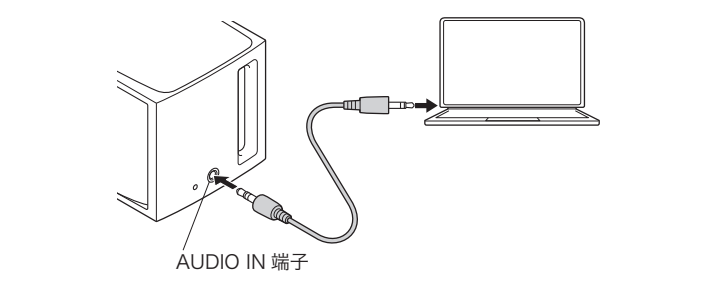
1. 電源ボタン①を押して、電源をオンにします。
2. Bluetooth ボタン②を約3秒間長押しします。Bluetooth インジケーター②が青色で速く点滅し、ペアリングモードになります。ペアリングモードは約 5 分続きます。
3. 本機を 1m 以内の距離に置き Bluetooth 対応機器の Bluetooth 設定機能を有効（オン）にします。Bluetooth 対応機器の画面に表示される「Onkyo SAS200」を選んでください。接続を開始すると、Bluetooth インジケーター②の点滅が遅くなります。
   • パスワードを要求された場合は、「0000」を入力してください。
4. ペアリングが完了すると、Bluetooth インジケーター②が青色で点灯します。
   • 本機は最大 8 台のペアリング情報を記憶できます。
   9 台目のペアリングをすると、最も古く接続した機器のペアリング情報が削除されます。
   2 台目以降のペアリングも上記と同じ操作で行います。
   • Bluetooth ボタン②を 10 秒以上長押しすると、すべてのペアリング情報を削除できます。再度ペアリングする場合は、Bluetooth 対応機器の機器登録を削除してください。

再生する

本機の電源をオンにしたうえで、Bluetooth 対応機器の接続操作を行い、音声を再生します。
• 最大音量近くで再生している場合、バッテリー残量が少なくなると、自動的に音量が下がります。
• 本機は、2 台の Bluetooth 対応機器を同時に接続できる「マルチポイント機能」を搭載しています。2 台までは同時に接続できますが、3 台目を接続する場合は、先に接続した機器のいずれかの接続を解除してください。また、一方を再生中に他方を再生する場合は、再生中の音声を停止してください。なお、マルチポイント機能は、4 の TWS 機能使用時には働きません。
• Bluetooth 対応機器の音量設定が小さいと、本機から音声が出力されません。
• Bluetooth ワイヤレス技術の特性上、本機での再生音は Bluetooth 対応機器での再生音と比べてやや遅れることがあります。

スマートスタンバイモードについて（初期設定：無効）
本機の電源がスタンバイ状態でも、Bluetooth 対応機器の接続操作や AUDIO IN 端子に音声が入力するだけで、本機の電源が自動でオンになります。有効にするには、電源がオンの状態で、電源ボタン①を約 3 秒間長押しします。この機能は、充電用 AC アダプター接続時のみ機能します。無効にする時も、同じ操作を行います。
• スマートスタンバイモードの時に、本機の電源をスタンバイ状態にするには、Bluetooth 対応機器の接続を解除してから行ってください。

3 外部機器を AUDIO IN 端子に接続して再生する

市販のステレオミニプラグケーブルを使用して、外部機器の音声出力端子と本機の AUDIO IN 端子を接続し、音声を再生することができます。

ご注意：AUDIO IN 端子を接続すると、音声入力切換が AUDIO IN 端子接続に自動で切り換わります。このあとで Bluetooth 再生を楽しむには、AUDIO IN 端子接続を外すか、Bluetooth ボタン②を押して Bluetooth 再生に切り換えてください。

4 本機を 2 台で使用する（TWS 機能）

1 台を左側、もう 1 台を右側のスピーカーとして再生することができます（True Wireless Stereo 機能）。音場の拡大や音の密度を高めて、よりリアルな音楽を楽しむことができます。

設定するには

1. 電源ボタン①を押して、電源をオンにします。
   • Bluetooth 対応機器と接続している場合は、接続を解除してください。
2. 右側にする本機の消音ボタン③と音量ボタン④の「+」を同時に、消音インジケーター③が橙色で点滅するまで 3 秒以上長押しします。
   • TWS の設定は、必ず右側から行ってください。また、すでにペアリングが完了している本機がある場合は、右側にしてください。
3. 左側にする本機の消音ボタン③と音量ボタン④の「−」を同時に、消音インジケーター③が白色で点滅するまで 3 秒以上長押しします。
4. 左側と右側の接続が完了すると、消音インジケーター③が橙色（右側）と白色（左側）で点灯します。
5. Bluetooth 対応機器とのペアリングは、右側の本機と行います。
   • TWS 機能を解除するには、両方の電源をオンにしたうえで、右側または左側のいずれかの Bluetooth ボタン②と消音ボタン③を 3 秒以上長押しします。解除すると、消音インジケーター③が消えます。自動的にもう一方も解除されますが、消音インジケーター③が消えない場合は、もう一方も上記の解除操作を行ってください。

再生操作について

TWS 機能の使用中は、2 台のうちいずれかを操作するだけで、もう 1 台と電源オフや音量調整が連動します。
• TWS 機能を使用して AUDIO IN 端子接続する場合は、右側の本機と接続してください。
• TWS 機能を使った場合、再生音の遅延が、1 台での使用時に比べて大きくなります。また、最大通信範囲（距離）が約半分程度に短くなります。

■ インジケーターについて

本機の状態は、下表のとおり各インジケーターで表示されます。

電源	AC アダプター	電源 インジケーター			Bluetooth インジケーター	消音 インジケーター		状態
		赤	緑	橙	青	白	橙	
オフ	接続あり	−	点灯	−	−	−	−	満充電
		−	点滅*	−	−	−	−	充電中
		点滅*	−	−	−	−	−	充電中（バッテリー残量が少ない）
		−	−	点灯	−	−	−	スマートスタンバイ
	接続なし	−	−	−	−	−	−	スタンバイ
オン	接続あり	−	点灯	−	−	−	−	満充電
		−	点滅*	−	−	−	−	充電中
		点滅*	−	−	−	−	−	充電中（バッテリー残量が少ない）
	接続なし	−	点灯	−	−	−	−	十分なバッテリー残量あり
		点灯	−	−	−	−	−	バッテリー残量が少ない
	接続あり / なし	−	−	点滅 2 回	−	−	−	スマートスタンバイモード オフ→オン
		−	−	点滅 1 回	−	−	−	スマートスタンバイモード オン→オフ
		−	−	−	点滅	−	−	Bluetooth 接続待機中
		−	−	−	速い点滅	−	−	Bluetooth ペアリングモード
		−	−	−	点灯	−	−	Bluetooth 接続
		−	−	−	−	交互に点滅（2 回）		音量が最小または最大に達した時
		−	−	−	−	点滅	−	消音中
		−	−	−	−	点滅	−	TWS 接続待機中（左側）
		−	−	−	−	−	点滅	TWS 接続待機中（右側）
		−	−	−	−	速い点滅	−	TWS ペアリングモード（左側）
		−	−	−	−	−	速い点滅	TWS ペアリングモード（右側）
		−	−	−	−	点灯	−	TWS 接続（左側）
		−	−	−	−	−	点灯	TWS 接続（右側）
		交互に点滅		−	−	−	−	バッテリー残量なし（しばらく充電してください）
		速い点滅	−	−	−	−	−	保護回路動作

＊状況によっては遅い点滅になりますが、そのまま充電してください。

■ 故障かな?と思ったら

工場出荷状態に戻すには：本機が正常に動作しない場合、工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。
設定を初期化するには、本機の電源をオンにしたうえで、電源インジケーター①が消えるまで、電源ボタン①を 10 秒以上長押しします。
• TWS 機能を有効にしている場合は、2 台とも初期化してください。

再起動するには：操作を行っても動作の反応がないなどの場合は、再起動を行うことで、正常な状態に戻ることがあります。
再起動するには、ピンなど先の細いもので、AUDIO IN 端子の左横の小さな穴（リセット穴）を押します。

SN29402022
D1501-0